

第1回 観光業におけるデータマーケティングの基礎

科目名	観光マーケティングの重要性／観光データの活用方法	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	本コースの概要、観光マーケティング重要性、観光データの活用方法を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. 本コースの概要 2. 学習目標の理解	本コースの全体像をイメージさせることと日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、コースに対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 学習目標の理解 3. 観光マーケティングの重要性を学ぶ(ニーズ、ウォンツ、マーケティングのプロセスを理解する)	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 観光マーケティングについて学んだ内容を再度確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習① 個人演習② 個人演習③		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 4. 観光データの活用方法	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 マーケティング調査、観光データなどについて理解を深める	見本となる実際のデータを準備する	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 日々の業務の中で、観光データの必要性があるか考察する。	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①(確認テスト) 個人演習②	観光白書を事前に読み込んでおく	
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第2回 観光マーケティング基礎①

科目名	観光マーケティング基礎①(観光マーケティングとは)	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	観光マーケティングの基本を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. 観光マーケティングの基本1	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 観光マーケティングの基本を学ぶ -観光マーケティングのプロセス -ニーズとウォンツ -STP		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 観光マーケティングの基本が理解できているか再確認し、日々の業務への活用法を考察する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習① 個人演習②		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. 観光マーケティングの基本2	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 観光マーケティングの基本を学ぶ -観光マーケティングの7P -USPとディスティネーションライフサイクル -推進体制の作り方 -KPI、PDCAの重要性		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 現在所属している組織のマーケティング戦略について考察する		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①	観光産業で参考となる4P戦略書を用意する	
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第3回 観光マーケティングの基礎②

科目名	観光マーケティング基礎②(デジタルマーケティングとは)	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	デジタルマーケティングの基本を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. デジタルマーケティングの基本1	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 デジタルマーケティングの基本を学ぶ -デジタルマーケティングの基本理解 -インターネット広告の理解		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 デジタルマーケティングの可能性、活用方法を考察する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①	インターネットがつながったパソコンを用意しておく	
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. デジタルマーケティングの基本2	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 デジタルマーケティングの基本を学ぶ -ニューメディアの理解 -SNSの活用		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 デジタルマーケティングの可能性、活用方法を考察する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習① 個人演習②		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第4回 オープンデータ・ビッグデータの活用方法

科目名	オープンデータ・ビッグデータの活用方法 (観光に関する各種データの見方)	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／ マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	観光に関する各種オープンデータ・ビッグデータの活用方法を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. 観光に関する各種オープンデータの活用方法	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 観光に関するオープンデータの分析方法を学ぶ -UNWTOデータの見方 -観光庁データの見方 -JNTOデータの見方 -各都道府県の観光データの見方		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 観光に関するオープンデータの分析・活用方法が理解できているか再確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. 観光に関するビッグデータの活用方法	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 観光に関するビッグデータの分析方法を学ぶ -RESASの見方 -観光予報プラットフォームの見方		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 観光に関するビッグデータの分析・活用方法が理解できているか再確認する		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習① 個人演習②		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第5回 オープンデータから分析する地域特性・顧客特性

科目名	オープンデータから分析する地域特性・顧客特性	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	観光庁データ、JNTOデータから地域特性、顧客特性を把握する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. 観光庁データから観光・地域に関する情報を分析する	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 観光庁データから観光・地域に関する情報を分析する手法を学ぶ	利用するデータの最新版を予め読み込んでおく	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 観光庁データの分析・活用方法が理解できているか再確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. JNTOデータからインバウンド顧客特性を分析する	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 JNTOデータからインバウンド客の動向を分析する方法を学ぶ	利用するデータはJNTOのデータ	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 学んだ観点をもとに自地域のインバウンド客の動向を考察する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第6回 データの活用

科目名	データの活用(演習)	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	RESASから自ら必要とする観光に関するデータを取得し、地域に関する分析を実施する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (10)	演習の目的と手法の説明	学習目標の理解 1. RESASを使った分析演習のやり方	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する
	展開 (40)	実習	自地域についてRESASを使って分析演習 -目的地分析 -From-to分析(宿泊者) -外国人訪問分析 -外国人滞在分析	インターネットにつながったパソコンを用意すること
	まとめ (10)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る	
演習	導入 (10)	演習の目的と手法の説明	学習目標の理解 2. 自ら選んだデータをもとに分析演習	
	実習 (40)	実習	個人演習①	リーサスから取得したデータをどのように分析するかポイントを説明する
	まとめ (10)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る	

第7回 その他の観光に関するデータ活用方法①

科目名	その他の観光に関するデータ活用方法①	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	Google TrendなどGoogleのビッグデータの見方や具体的な活用方法、分析方法を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (10)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. Google TrendなどGoogleのビッグデータの入手方法・見方	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (40)	新しい事項や知識の提示 Google TrendなどGoogleのビッグデータの入手方法、見方を学ぶ		
	整理 (10)	学んだ事項や知識の応用と発展 Google Trendの活用方法が理解できているか再確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (10)	演習の目的と手法の説明 学習目標の理解 2. Googleデータを活用した分析演習	受講生にGoogle Trendを自由に利用させて、沖縄や国内旅行のトレンドを分析させる。	
	実習 (40)	実習 個人演習① 個人演習② 個人演習③	個人演習③は記述形式で答えを自らの言葉で表現させる	
まとめ (10)	学んだ事項のまとめ 学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る			

第8回 その他の観光に関するデータ活用方法②

科目名	その他の観光に関するデータ活用方法②	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	Online travel Agent (OTA) のデータの見方、分析手法、各OTAの特徴・傾向が理解できる		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. OTAのマーケティングデータ	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 OTAとは何か、OTAのマーケティングデータの入手方法、見方を学ぶ		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 OTAのマーケティングデータの分析・活用方法が理解できているか再確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①	サンプルとして実際のOTAのマーケティングデータを予め用意する	
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. 各OTAの特徴	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 各OTAの特徴、傾向を理解する (日本系OTA、欧米系OTA、中国系OTA)		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 実際の業務でどのOTAを活用するかイメージを膨らませる	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第9回 プライマリーデータの活用方法

科目名	プライマリーデータの活用方法	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	オブザベーション(顧客観察)、アンケートの活用方法を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. プライマリーデータとオブザベーション(顧客観察)	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 ・プライマリーデータの定義を理解する ・オブザベーション(顧客観察)のやり方、効果を理解する		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 自らの業務でオブザベーション(顧客観察)を取り入れた活動が出来ないか考察する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ 学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る			
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. アンケートの調査調査、設問設計・分析方法について	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 顧客行動心理を把握するアンケート調査の方法、設問の作り方、集計分析方法を理解する		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 自らの業務でアンケート調査を取り入れた活動が出来ないか考察する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ 学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る			

統計学の基礎(EXCEL実習)

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	基本的な統計量の算出や仮説と実の区別ができ、統計的に考えることの意義を理解できる		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入(5)	注意喚起／目標提示 統計を学ぶ意義について確認	統計を修めることによって、出来ることのインパクトを強調する	
	展開(10)	新しい事項や知識の提示 観光ビッグデータを扱うにあたって統計/ビッグデータとは何か、何ができるか		
	整理(5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入(5)	演習の目的と手法の説明 データ分析をするための準備をする		
	実習(10)	実際にEXCELを操作して、データ分析の次準備をする(分析ツールのインストール)		
まとめ	学んだ事項のまとめ 統計がいかに生活に根付いているかを確認する			
講義	導入(5)	注意喚起／目標提示 統計学とはなにかの全体像を知る 代表値とは何かを知る		
	展開(15)	新しい事項や知識の提示 代表値(平均値・中央値・最頻値)の意味・基本的知識を確認	基礎知識の違いがあることを考慮	
	整理(5)	学んだ事項や知識の応用と発展 データ分析とはどういうことか?		
個人演習	導入(5)	演習の目的と手法の説明 代表値などの基本統計量を算出することを説明		
	実習(30)	代表値(平均値・中央値・最頻値)をエクセルで算出する その数値から何が読み取れるかを考える	作業に遅れる受講者がいないようにサポート	
まとめ	学んだ事項のまとめ 統計的に考えるという姿勢とその意義を改めて確認する			

グラフの特徴と見せ方(Excel実習)

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	グラフの種類による違い(特に読み取れるもの)を理解し、使い分けることの意義を知る		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 データからグラフを作る意味を知る		
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 散布度・分散・標準偏差を知り、表とグラフでのそれぞれが表すことを知る	折れ線グラフ・棒グラフ・帯グラフ・円グラフなどのほかのグラフの話にも触れるようにする	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 与えられたデータからグラフを作成する方法を知る	データから、指定されたグラフへの単純変換を実行する工程を説明	
	実習 (15)	実習 (エクセル実習)データからグラフを作成してみる	グラフの作成をサポート	
まとめ	学んだ事項のまとめ	グラフから何がわかるか検討する	データとグラフを見比べて何が変わったかを考えさせる	
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示		
	展開 (15)	新しい事項や知識の提示 グラフと表における質的変数と量的変数の違いを知る	元データの表から、利用できるグラフにする流れをりかいする	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 与えられたデータからグラフを作成する方法を知る	グラフの作成をサポート	
	実習 (10)	実習 (エクセル実習)データからグラフを作成してみる	データとグラフを見比べて何が変わったかを考えさせる	
まとめ	学んだ事項のまとめ	データからは見つけづらかったが、グラフにするとわかるものは何かを抽出し、共有する	個人で考える→グループで共有→全体発表	

データの見える化・データの読み方(Excel実習)

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	データの見える化をする意味を入り、正確に必要な情報をデータから読み取りができるようになる		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 データの見える化とは何か？		
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 データに見える化する意味	グラフの種類によって見えてくる意味が変化する	
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 データや目的に添ったグラフを選択し、作成する(1)		
	実習 (20)	実習 (エクセル実習) 折れ線グラフ 散布図 帯グラフ		
まとめ		学んだ事項のまとめ データの見える化によってわかること		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 データや目的に添ったグラフを選択し、作成する(2)		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 課題に合わせてデータを選び、グラフ作成し、課題に対しての解決案を出す・		
	実習 (20)	実習(1) (エクセル実習) 円グラフ 棒グラフ バブルチャート		
	実習 (20)	実習(2) グラフを作成して読み取れることは何かを考え、共有する	見えたことを述べるのではなく、見えたことからわかったこと、提案できることを考える	
まとめ		学んだ事項のまとめ 見える化によって、何が何がわかるかではなく、わかったことからどうするかが重要		

データの関係性 (EXCEL実習)

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	EXCELを操作してデータ間の相関を読み取れるようにする、同様に目的にあったクロス表が作れるようになる		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 EXCELでできる相関とクロス表と、そこからわかること		
	展開 (15)	新しい事項や知識の提示 相関とはなにか？ 相関係数		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 データの関係性を理解し、EXCELで相関をだす		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 データからグラフを作成し、相関係数を出す。 関係性のパターンを知る。		
	実習 (10)	実習 EXCELを使用して相関係数を求める手順を実践する。		
まとめ	学んだ事項のまとめ	相関と因果	相関係数とその意味を知る	
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 2つのデータの関係性を知る		
	展開 (25)	新しい事項や知識の提示 クロス表とはなにか クロス表からわかること リフト値		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 与えられたデータからクロス表を作成する方法を知る		
	実習 (10)	実習 データからクロス表を作る		
まとめ	学んだ事項のまとめ	実習で作成したグラフやクロス表から何がわかるか？	個人で考える→グループで共有→全体発表	

データ分析の流れ(Excel実習)

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	基本的なデータ分析とデータをもとにした提案の工程を理解し実践できる		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 統計的仮説検定の流れを理解する		
	展開 (15)	新しい事項や知識の提示 データ分析として統計的仮説検定の基本的を理解する		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
	導入 (5)	新しい事項や知識の提示 分析に必要な確率・正規分布・偏差値の基本部分を確認		
	実習 (10)	実習 仮説検定の流れをデモ形式で実習		
まとめ	学んだ事項のまとめ 分析の流れの確認			
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 データを元にした提案の価値を確認		
	展開 (10)	新しい事項や知識の提示 分析前の仮説、分析後の考察・提案の流れや留意点を確認		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 仮説・分析・考察・提案の演習の説明		
	実習 (30)	実習 データを元にした提案演習	作業(考察)が進まない受講者へのヒント提示	
まとめ	学んだ事項のまとめ データ分析の基本的な流れの再確認			

データの掛け合わせ (EXCEL 実習)

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	複数のデータを掛け合わせ、比較した分析の手法を理解し、その意義を知る		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 複数データの掛け合わせの意義を確認		
	展開 (15)	新しい事項や知識の提示 データの種類、掛け合わせの種類を説明 回帰分析の基本		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 単回帰分析の演習の作業説明		
	実習 (20)	実習 単回帰分析演習		
まとめ	学んだ事項のまとめ	演習内容振り返りとその先の統計的分析手法の簡単な紹介		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 データを見つけて利用することについて		
	展開 (15)	新しい事項や知識の提示 身近にもデータがあることを知る		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展		
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 ワークシート の利用方法について		
	実習 (30)	実習 自分で探したデータを利用して分析してみる		
まとめ	学んだ事項のまとめ			

統計学の基礎

科目名	観光ビッグデータ	時間	120分
科目目標			
コマ目標	実際のデータを利用した分析を通して実践力を身につける		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明	自身のビジネスのデータを使って、分析をしてもらうことを説明	
	実習 (110)	実習	実際のデータを使って分析し考察をする	「仮説→クレンジング→分析→考察→提案」という流れをしっかりと踏むようサポート
まとめ	学んだ事項のまとめ	実習を通して学んでもらいたかったことの確認		

統計学の基礎

科目名	観光ビッグデータ	時間	180分
科目目標			
コマ目標	お互いの演習結果を確認し理解を深める		
評価方法			

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明	実戦演習の分析結果を発表してもらうことを説明	
	実習 (150)	実習	一人ずつ考察結果を発表し参加者同士の質疑応答を行う	参加者同士で質問やフィードバックが出るように促す
まとめ	学んだ事項のまとめ	発表全体への講師評価および全体のまとめ		

第18回 データを活用したマーケティング戦略の作り方

科目名	データを活用したマーケティング戦略の立案	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／ マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	各種データからターゲットセグメンテーションを設定し、マーケティングミックスを自ら設定できるようになる		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
個人演習	導入 (20)	学習目標の理解 1. 既存データからターゲットセグメンテーションを導き出し、マーケティングミックス(4P)を設定する	観光マーケティングに関する復習要素。最終課題に繋がる重要な点を説明する。第20回、22回と連動する	
	演習 (90)	個人演習① (ターゲット、マーケティングミックスの設定方法)		
	まとめ (10)	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第19回 KPIとPDCA

科目名	KPIとPDCA	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	マーケティング戦略立案におけるKPIの設定方法とPDCAの回し方を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. マーケティング戦略立案におけるKPI	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 ・マーケティング戦略立案におけるKPIの設定方法とその重要性を理解する		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 自社のマーケティング戦略におけるKPIが何かを確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①		
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		
講義	導入 (5)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 2. マーケティング戦略推進におけるPDCA	日々の業務遂行に対する課題感を受講生から引き出し、学習内容に対する期待感を醸成する	
	展開 (20)	新しい事項や知識の提示 ・マーケティング戦略推進におけるPDCAとは何かを理解し、その回し方を学ぶ		
	整理 (5)	学んだ事項や知識の応用と発展 自らの業務を「PDCA」の観点で振り返る	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (5)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (20)	実習 個人演習①	必要に応じて、PDCAシートは別シートとする	
まとめ (5)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第20回 マーケティング戦略書の作り方

科目名	マーケティング戦略書の作り方	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	実効性の高いマーケティング戦略書の作り方を学ぶ		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (10)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. マーケティング戦略書の構成要素の理解と作成のポイント	第2回、第18回と連動していることを確認する	
	展開 (40)	新しい事項や知識の提示 ・マーケティング戦略書の構成要素を理解し、作成のポイントを学ぶ	個人演習とのバランスを見て、講義時間の短縮を検討する	
	整理 (10)	学んだ事項や知識の応用と発展 マーケティング戦略書を作成する上で大切なポイント、用語を理解しているか再確認する	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (10)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する (SWOT、STP、4P、3C)	
	実習 (40)	実習 個人演習① 個人演習② 個人演習③ 個人演習④	実習に多くの時間が割かれるので、必要に応じて、講義時間の短縮を検討する	
まとめ (10)	学んだ事項のまとめ	学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る		

第21回 ビジネスプレゼンテーションの基本

科目名	ビジネスプレゼンテーションの基本を理解する	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	伝えるためのビジネスプレゼンテーションの基本を理解する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
講義	導入 (10)	注意喚起／目標提示 学習目標の理解 1. ビジネスプレゼンテーションの基本	最終プレゼンテーションに向けて意識の醸成を図る	
	展開 (40)	新しい事項や知識の提示 ・ビジネスプレゼンテーションの基本を学ぶ -プレゼンテーションの意義 -プレゼンテーションのスキル -プレゼンテーションの練習方法		
	整理 (10)	学んだ事項や知識の応用と発展 自らのプレゼンテーションの癖、特徴を客観的に捉える	適切な質問を投げかけることで、受講生の気づきを促す	
個人演習	導入 (10)	演習の目的と手法の説明 個人ワークのポイントを理解する	個人ワークの狙いを説明する	
	実習 (40)	実習 個人演習①		
まとめ (10)	学んだ事項のまとめ 学んだ内容を自らの言葉でアウトプットして記憶の定着を図る			

第22回 データを使用した分析と観光メニュー実習

科目名	データを使用した分析と観光メニュー実習(戦略書の作成・演習)	時間	120分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／ マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	学んだ全ての知識を活用してマーケティング戦略書を作成する		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
個人演習	導入 (10)	演習の目的と手法の説明	学習目標の理解 1. 観光マーケティングデータを活用した戦略書の作成	
	実習 (90)	実習	個人演習①	時間を最大限取って戦略書の作成を支援する。
まとめ (20)		学んだ事項のまとめ	個人ワークの内容を講師と共に確認する	

第23回 観光メニュー企画演習・発表

科目名	観光メニュー企画演習・発表(通学)	時間	180分
科目目標	観光マーケティングの基礎理解／データの理解・活用／統計の基本理解／ マーケティング戦略書作成／プレゼンテーションスキル		
コマ目標	作成したマーケティング戦略書を聴衆の前でプレゼンテーションする		
評価方法	NA		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
個人演習	導入 (10)	演習の目的と手法の説明	学習目標の理解 1. 観光メニュー企画演習・発表	
	実習 (120)	実習	個人プレゼンテーション(登壇形式)	プレゼン時間は発表人数により変動する
	まとめ (50)	学んだ事項のまとめ	評価者からの講評を受ける	講評シートの準備